

平成 28 年度 資格スクール大栄

第 145 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商業簿記

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	備 品	14,580,000	営業外支払手形	15,000,000
	前払利息	420,000		
2	諸 資 産	87,000,000	諸 負 債	34,000,000
			資 本 金	30,000,000
			資 本 準 備 金	20,000,000
			負ののれん発生益	3,000,000
3	満期保有目的債券	59,700,000	当 座 預 金	59,742,000
	有価証券利息	42,000		
4	仕 掛 品	245,000	給 料	200,000
			旅 費 交 通 費	45,000
5	支 店	613,000	損 益	613,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 2 問 (20 点)

株主資本等変動計算書

自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計
当 期 首 残 高	20,000	1,500	800	
当 期 変 動 額				
剰余金の配当		(50)	(△ 550)	(△ 500)
別途積立金の積立て				
新株の発行	(700)	(700)		(700)
当期純利益				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	(700)	(750)	(△ 550)	(200)
当 期 末 残 高	(20,700)	(2,250)	(250)	(2,500)

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株 主 資 本				株主資本 合 計	評価・換算差額等		純 資 産 計 合 計
	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 合 計	
		別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金					
当 期 首 残 高	500	100	2,600	3,200	25,500	80	80	25,580
当 期 変 動 額								
剰余金の配当	(150)		(△1,650)	(△1,500)	(△2,000)			(△2,000)
別途積立金の積立て		(120)	(△120)	—	—			—
新株の発行					(1,400)			(1,400)
当期純利益			(930)	(930)	(930)			(930)
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						(180)	(180)	(180)
当期変動額合計	(150)	(120)	(△840)	(△570)	(330)	(180)	(180)	(510)
当 期 末 残 高	(650)	(220)	(1,760)	(2,630)	(25,830)	(260)	(260)	(26,090)

 1つにつき2点 合計20点

(配点は、当学院の予想です)

工業簿記

第 4 問 (20 点)

問 1

補助部門費配賦表

(単位:円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切削部	組立部	修繕部	動力部	工場事務部
部 門 費	2,200,000	300,000	120,000	350,000	630,000	800,000
工場事務部費		200,000	600,000			
動力部費		420,000	210,000			
修 繕 部		200,000	150,000			
製造部門費	2,200,000	1,120,000	1,080,000			

問 2

製造間接費 - 仕掛

(単位:円)

月 初 有 高	(103,000)	完 成 品	(2,175,000)
当 月 実 際 配 賦 額	(2,200,000)	月 末 有 高	(128,000)
	(2,303,000)		(2,303,000)

1 つにつき 4 点 合計 20 点
 (配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

直接原価計算による損益計算書

(単位:円)

	前々期	前 期
売 上 高	(1,600,000)	(1,600,000)
変 動 費	(770,000)	(765,000)
貢 献 利 益	(830,000)	(835,000)
固 定 費	(640,000)	(640,000)
営 業 利 益	(190,000)	(195,000)

1 つにつき 2 点 合計 20 点
 (配点は、当学院の予想です)

【2 級解説】

第 1 問

- 備品購入に際し振り出した約束手形は「営業外支払手形」勘定で処理します。固定資産を割賦購入した場合には、現金購入価額を取得原価とし、割賦購入代価との差額は「前払費用」勘定に計上します。
- 受入純資産 ¥53,000,000 (= ¥87,000,000 - ¥34,000,000) よりも取得原価 ¥50,000,000 (= @ ¥5,000 × 10,000 株) が低いため、その差額は「負ののれん発生益」勘定で処理します。
 資本金計上額 : ¥50,000,000 × 60% = ¥30,000,000
 資本準備金計上額 : ¥50,000,000 × 40% = ¥20,000,000
- 満期保有目的債券の取得原価 : $¥60,000,000 \times \frac{¥99.50}{¥100} = ¥59,700,000$
 端数利息(7月1日~9月8日) : $¥60,000,000 \times 0.365\% \times \frac{70\text{日}}{365\text{日}} = ¥42,000$
- 役務収益のために直接費やされた費用は、役務提供が終了するまでは「仕掛品」勘定に計上されます。
- 支店で算定された純利益は、支店の損益勘定から本店の損益勘定に振り替えます。
 支店の処理 : (損 益) 613,000 (本 店) 613,000
 本店の処理 : (支 店) 613,000 (損 益) 613,000

第 2 問

答案用紙の単位が千円となっている点に注意してください。

一連の仕訳は、以下のようになります。

1. 剰余金の配当および処分 (単位 : 千円)

①・② (その他資本剰余金)	550	(未払配当金)	2,000
(繰越利益剰余金)	1,650	(資本準備金)	50
		(利益準備金)	150
③ (繰越利益剰余金)	120	(別途積立金)	120

準備金要積立額

$$\textcircled{1} \quad 20,000 \text{ 千円} \times \frac{1}{4} - (1,500 \text{ 千円} + 500 \text{ 千円}) = 3,000 \text{ 千円}$$

$$\textcircled{2} \quad 2,000 \text{ 千円} \times \frac{1}{10} = 200 \text{ 千円}$$

$$\textcircled{3} \quad \textcircled{1} > \textcircled{2} \quad \therefore 200 \text{ 千円}$$

資本準備金および利益準備金の積立額

$$\textcircled{1} \quad \text{資本準備金} : 200 \text{ 千円} \times \frac{500 \text{ 千円}}{2,000 \text{ 千円}} = 50 \text{ 千円}$$

$$\textcircled{2} \quad \text{利益準備金} : 200 \text{ 千円} \times \frac{1,500 \text{ 千円}}{2,000 \text{ 千円}} = 150 \text{ 千円}$$

2. 株式の発行 (単位 : 千円)

(現金預金)	1,400	(資本金)	700*
		(資本準備金)	700

$$* \quad 1,400 \text{ 千円} \times \frac{1}{2} = 700 \text{ 千円}$$

3. 決算整理 (単位: 千円)

① その他有価証券

期首振戻処理 (洗い替え法)

(その他有価証券評価差額金)	80	(その他有価証券)	80*
------------------	----	-------------	-----

* 株主資本等変動計算書の当期首残高より

期末の評価替え

(その他有価証券評価差額金)	180	(その他有価証券)	180*
------------------	-----	-------------	------

* $1,530 \text{ 千円} - (1,350 \text{ 千円} - 80 \text{ 千円}) = 260 \text{ 千円}$ ∴ 株主資本等変動計算書の当期変動額: $260 \text{ 千円} - 80 \text{ 千円} = 180 \text{ 千円}$

② 当期純利益

(損	益)	930	(繰越利益剰余金)	930
-----	-----	-----	-------------	-----

第 3 問

[資料Ⅱ] 決算にあたっての修正事項

1. 売上高について

(売	上)	600,000	(売	掛	金)	600,000
-----	-----	---------	-----	---	-----	---------

2. 備品について

(保	守	料)	300 *	(備	品)	3,600
(前	払	費用)	3,300			

* $¥3,600 \times \frac{1 \text{ ヵ月}}{12 \text{ ヵ月}} = ¥300$

3. 源泉税について

(仮	払	法人	税	等)	4,000 *	(受	取	利	息)	4,000
-----	---	----	---	-----	---------	-----	---	---	-----	-------

* $¥16,000 \times \frac{20\%}{80\%} = ¥4,000$

4. 電子記録債務について

(買	掛	金)	140,000	(電	子	記	録	債	務)	140,000
-----	---	-----	---------	-----	---	---	---	---	-----	---------

[資料Ⅲ] 決算整理事項

1. 売上原価の算定について

(仕	入)	1,601,000	(繰	越	商	品)	1,601,000			
(繰	越	商	品)	2,150,000 *1	(仕	入)	2,150,000			
(棚	卸	減	耗	損)	40,000 *2	(繰	越	商	品)	40,000

*1 $¥1,750,000 + \text{未検収品} ¥400,000 = ¥2,150,000$ *2 $¥2,150,000 - (¥1,710,000 + \text{未検収品} ¥400,000) = ¥40,000$

※ 貸借対照表に計上される商品は、実地棚卸高となるため、未検収商品の原価を加算した $¥2,110,000 (= ¥1,710,000 + ¥400,000)$ でも計算される。

2. 未払費用について

(1) 再振替仕訳

(未 払 費 用)	113,000	(給 料)	23,000
		(水 道 光 熱 費)	90,000

(2) 決算整理仕訳

(給 料)	35,000	(未 払 費 用)	140,000
(水 道 光 熱 費)	105,000		

3. 長期前払費用について

(保 險 料)	500 *1	(長 期 前 払 費 用)	6,500
(前 払 費 用)	6,000 *2		

$$*1 \quad \text{¥}18,000 \times \frac{1\text{カ月}}{36\text{カ月}} = \text{¥}500$$

$$*2 \quad \text{¥}18,000 \times \frac{12\text{カ月}}{36\text{カ月}} = \text{¥}6,000$$

4. 減価償却費について

(減 価 償 却 費)	7,050	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	2,800 *1
		(備 品 減 価 償 却 累 計 額)	4,250 *2

$$*1 \quad \text{¥}810,000 \div 30 \text{年} - \text{¥}2,200 \times 11 \text{カ月} = \text{¥}2,800$$

*2 当期減価償却費

$$\text{既存備品} : \{(\text{¥}163,600 - \text{¥}63,600) - \text{¥}25,000 \times *1\} \times 0.25 \times *2 = \text{¥}18,750$$

$$\text{新規備品} : (\text{¥}63,600 - \text{¥}3,600) \times 0.40 \times *3 \times \frac{1\text{カ月}}{12\text{カ月}} = \text{¥}2,000$$

当期追加計上額

$$(\text{¥}18,750 + \text{¥}2,000) - \text{¥}1,500 \times 11 \text{カ月} = \text{¥}4,250$$

$$*1 \quad \text{¥}41,500 - \text{¥}1,500 \times 11 \text{カ月} = \text{¥}25,000$$

$$*2 \quad 1 \text{年} \div 8 \text{年} \times 200\% = 0.25$$

$$*3 \quad 1 \text{年} \div 5 \text{年} \times 200\% = 0.40$$

5. 借入金について

(短 期 借 入 金)	600,000 *1	(長 期 借 入 金)	600,000
(支 払 利 息)	2,200 *2	(前 払 費 用)	2,200

*1 返済期日が平成 31 年 1 月 31 日に到来する借入金は長期借入金として固定負債に表示します。

$$*2 \quad \text{¥}200,000 \times 1.2\% \times \frac{2\text{カ月}}{12\text{カ月}} + \text{¥}600,000 \times 1.8\% \times \frac{2\text{カ月}}{12\text{カ月}} = \text{¥}2,200$$

6. 貸付金について

(短 期 貸 付 金)	50,000 *	(長 期 貸 付 金)	50,000
---------------	----------	---------------	--------

* 返済期日が平成 28 年 9 月 30 日に到来する貸付金は短期貸付金として流動資産に表示します。

7. 貸倒引当金について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	11,180	(貸 倒 引 当 金)	11,180
-------------------	--------	---------------	--------

$$* \quad (\text{¥}140,000 + \text{¥}2,078,000 - \text{¥}600,000) \times 1\% - \text{¥}5,000 = \text{¥}11,180$$

8. 退職給付引当金について

(退 職 給 付 費 用)	60,000	(退 職 給 付 引 当 金)	60,000
-----------------	--------	-------------------	--------

9. 法人税等について

(法人税、住民税及び事業税)	148,800 *2	(仮払法人税等)	7,000 *1
		(未払法人税等)	141,800

*1 $¥3,000 + ¥4,000$ (資料Ⅱ 3 より) = $¥7,000$

*2 税引前当期純利益 $¥500,000 \times 30\% - ¥1,200 = ¥148,800$

< 当期純利益の算定 >

		損	益	(単位：円)
仕	入	6,000,800	売	上 11,614,130
給	料	3,822,000	受	取 利 息 25,000
賃	借	896,180		
保	險	15,500		
水	道	214,400		
減	価	47,750		
保	守	300		
棚	卸	40,000		
退	職	60,000		
支	払	42,200		
税	引	500,000		
	前	11,639,130		
	当	11,639,130		11,639,130

第 4 問

問 1

(1) 工場事務部 切削部： $¥800,000 \times \frac{10人}{10人+30人} = ¥200,000$

組立部： $¥800,000 \times \frac{30人}{10人+30人} = ¥600,000$

(2) 動力部 切削部： $¥630,000 \times \frac{600kwh}{600kwh+300kwh} = ¥420,000$

組立部： $¥630,000 \times \frac{300kwh}{600kwh+300kwh} = ¥210,000$

(3) 修繕部 切削部： $¥350,000 \times \frac{20回}{20回+15回} = ¥200,000$

組立部： $¥350,000 \times \frac{15回}{20回+15回} = ¥150,000$

問 2

(1) 配賦率の計算

切削部： $¥1,120,000 \div 4,000 \text{ 時間} = ¥280/\text{時間}$

組立部： $¥1,080,000 \div 7,500 \text{ 時間} = ¥144/\text{時間}$

(2) 完成高

$¥103,000 + ¥280/\text{時間} \times 3,800 \text{ 時間} + ¥144/\text{時間} \times 7,000 \text{ 時間} = ¥2,175,000$

(3) 月末有高

$¥280/\text{時間} \times 200 \text{ 時間} + ¥144/\text{時間} \times 500 \text{ 時間} = ¥128,000$

第 5 問

(1) 前々期

① 売上原価の分析

製 品		(単位: 円)
生産量(1,000 個)	販売量(1,000 個)	変動費 1,020,000 円 - 360,000 円 = 660,000 円
変動費 660,000 ※	変動費 660,000 ※	
固定費 360,000	固定費 360,000	
計 1,020,000	計 1,020,000	

② 販売費および一般管理費の分析

変動販売費: 110 円/個 × 1,000 個 = 110,000 円

固定販売費および一般管理費: 390,000 円 - 110,000 円 = 280,000 円

③ 直接原価計算による変動費

変動売上原価 660,000 円 + 変動販売費 110,000 円 = 770,000 円

④ 直接原価計算による固定費

固定加工費 360,000 円 + 固定販売費および一般管理費 280,000 円 = 640,000 円

(2) 前期

① 売上原価の分析

製 品		(単位: 円)
生産量(1,200 個)	販売量(1,000 個)	固定加工費配賦率 360,000 円 ÷ 1,200 個 = 300 円/個 ※1 300 円/個 × 1,000 個 = 300,000 円 ※2 955,000 円 - 300,000 円 = 655,000 円
変動費 ?	変動費 655,000 ※2	
固定費 360,000	固定費 300,000 ※1	
計 ?	計 955,000	
期末在庫量(200 個) 省略		

② 販売費および一般管理費の分析

変動販売費: 110 円/個 × 1,000 個 = 110,000 円

固定販売費および一般管理費: 390,000 円 - 110,000 円 = 280,000 円

③ 直接原価計算による変動費

変動売上原価 655,000 円 + 変動販売費 110,000 円 = 765,000 円

④ 直接原価計算による固定費

固定加工費 360,000 円 + 固定販売費および一般管理費 280,000 円 = 640,000 円